

第4回 日アセアン交通大臣会合  
2007年2月9日 タイ バンコク

共同報道ステートメント (仮訳)

1. 日本とアセアンの交通大臣は、平成19年2月9日、タイ国バンコクにおいて、日本の山本国土交通審議官とタイ国のティラ・ハオチャルン(Thira Hao-Charoen)運輸大臣を共同議長として「第4回日アセアン交通大臣会合」を開催した。
2. 各国の交通セキュリティ強化のための協力の進展が必要との観点から、交通大臣会合は、「日アセアン交通セキュリティ大臣宣言」を採択した。本宣言の具体化のためには、交通大臣は、全ての交通モードに対するテロ行為を防ぐための全ての実行可能な措置を講じること、国際機関の多大な努力を高く評価すること、キャパシティ・ビルディング(テロ対処能力の向上)への支援を実施することの重要性を認識した。
3. 交通大臣会合は、「日アセアン交通連携」の下に実施されている21の共同プロジェクトの着実な進展に満足の意を表し、これら21の共同プロジェクトの2007年の行動計画を支持した。これら21の共同プロジェクトは、交通セキュリティや都市交通といった分野における人的及び組織的な能力向上、効率的で持続的な交通サービスに必要な技術的ノウハウやテクノロジー移転などの様々な分野において、大いに貢献してきた。交通大臣は、これら共同プロジェクトの確実な実施を確認した。アセアンの交通大臣は、アセアン支援の継続について、日本への感謝の意を表した。
4. 共同プロジェクトの大きな進展の一つは、「日アセアン港湾保安向上行動計画」が大い会合で承認されたことである。本計画は、「船舶及び港湾施設の保安に関する国際規則(ISPSコード)」に対応するため、港湾施設のセキュリティ強化を図るものである。更に交通大臣会合では、「日アセアン次世代航空保安システム整備勧告」も承認した。同勧告は、アジア域内の航空輸送量の増大に対処するとともに、域内の航空輸送の安全性を一層改善することを目的としている。交通大臣会合は、この二つの成果が、アセアン及び日本における交通政策の指針となることを確認した。
5. 交通大臣会合は、物流コスト及びリードタイムの削減により、アジア・ワイドなシームレスな物流システムの構築を目的とした日本の新しいイニシアティブ「国際物流競争力パートナーシップ」を歓迎した。交通大臣は、この新しいイニシアティブと現行の「日アセアン物流プロジェクト」が相まって、アセアンの物流サービス統合に向けた現行の取組みに有益かつ適切であるとの見解を示した。交通大臣会合は、次官級会合に対し、この物流関連の事案に関する一層の共同作業の検討と2007年11月にシンガポールで開催される「第5回日アセアン交通大臣会合」における進捗状況の報告を課した。

日 ASEAN 交通大臣会合出席者リスト

- (1) Pehin Dato Abu Bakar Apong ブルネイ国 運輸通信大臣
- (2) Mr. Sun Chanthol カンボジア国 公共事業・運輸大臣
- (3) Mr. Wendy Aritenang インドネシア国 運輸通信省次官
- (4) Mr. Shigetaro Yamamoto 日本 国土交通審議官
- (5) Mr. Math Soumala ラオス国 通信運輸郵政建設省企画協力局長
- (6) Dato Sri Chan Kong Choy マレーシア国 運輸大臣
- (7) Maj. Gen. Thein Swe ミャンマー国 運輸大臣
- (8) Ms Anneli. R Lontoc フィリピン国 運輸通信省次官
- (9) Mr. Raymond Lim Siang Keat シンガポール国 運輸大臣
- (10) Admiral Thira Hao-Charoen タイ国 運輸大臣
- (11) Mr. Ho Nghia Dung ベトナム国 運輸大臣
- (12) Mr. Ong Keng Yong ASEAN 事務局長

**日ASEAN交通セキュリティ大臣宣言**  
**(仮訳)**

我々、日本及びASEANの交通担当大臣は、第4回日ASEAN交通大臣会合のため、2007年2月9日、タイ王国のバンコクに集まり、

全てのテロ行為を非難し、世界各地のテロ攻撃により失われた人命について深い遺憾の意及び哀悼の意を表明し、

日ASEAN交通大臣会合の枠組みにおいて、各国の交通セキュリティを強化するための協力を発展させることを強調した、2004年11月の国際テロリズムとの闘いにおける協力に関する日ASEAN共同宣言に留意し、

日ASEAN交通連携のもとでの日ASEAN航空セキュリティプロジェクト及び日ASEAN海事セキュリティプログラムの実施における多大な成果を認識し、

2006年1月に東京で開催された国際交通セキュリティ大臣会合で採択された大臣宣言及び大臣声明を歓迎して、

以下の通り宣言する。

1. 今日の社会の基盤である全ての交通モードが社会・経済における重大な役割を果たせるよう、交通に対するテロ行為を防ぐためのすべての実行可能な措置を講じることを決意し、
2. 各国、交通関係者及び国際海事機関及び国際民間航空機関といった国際機関の多大な努力を高く評価する一方で依然残るテロに対する交通における脆弱性に取り組むことに高い優先順位を与え、
3. 交通セキュリティの脅威に未だ十分に取組んでいない国々を支援するためのキャパシティ・ビルディング(テロ対処能力の向上)に注意を払い、
4. セキュリティ措置がリスク評価に基づき、合法的な人流及び物流の促進と両立しなければならないことを確認し、
5. 船舶及び港湾施設の保安に関する国際規則の実施を含む、海事セキュリティを確保するための協力を促進し、
6. 国際民間航空条約第17附属書における国際標準及び勧告の実施、保安検査能力の向上、航空貨物セキュリティに焦点を当てつつ、航空セキュリティを確保するための協力を促進し、
7. 陸上交通輸送が国家経済や地域経済にもたらす移動のしやすさ・定時性・アクセスのしやすさといったメリットの維持に留意しつつ、陸上交通セキュリティの強化に必要な情報の共有を奨励する。

2007年2月9日、タイ王国バンコクにおいて採択された。

日 ASEAN 交通連携プロジェクトリスト

【交通円滑化】

- (1) 物流プロジェクト

【航空】

- (2) 次世代航空保安システム
- (3) 航空セキュリティプロジェクト
- (4) 空港調査プロジェクト

【海上交通】

- (5) 船員政策フォーラム
- (6) 海事セキュリティプログラム
- (7) クルーズ振興プログラム
- (8) 高速海上輸送ネットワーク
- (9) メガフロート普及推進プロジェクト
- (10) 港湾技術共同研究プロジェクト
- (11) コーストガード設立協力

【陸上交通】

- (12) 公共交通 IC カードの導入・普及
- (13) ITS 推進
- (14) 安全で環境にやさしい自動車プロジェクト
- (15) 道路標識の調和
- (16) 鉄道再生事業
- (17) 都市公共交通政策フレームワーク
- (18) 地球温暖化ガス削減プロジェクト (CDM検討プロジェクト)
- (19) 交通安全プロジェクト

【その他】

- (20) 交通政策行政官研修プログラム
- (21) 交通情報プラットフォームプロジェクト